第 197 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

1. 日時 2010 年 5 月 28 日(金) 16:00～18:00：技術委員会
2010 年 5 月 29 日(土) 08:30～09:15：技術委員会
見学会：
2010 年 5 月 28 日(金) 13:00～15:00：株式会社エクシム 愛知工場 見学
2010 年 5 月 29 日(土) 10:00～12:00：本多電子株式会社 超音波科学館 見学

2.開催場所
ホテル明山荘 会議室(〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町鳶欠 14-1)

3.出席者 (順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

長尾委員長(豊橋技科大)	○	岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×
小林委員(日立製作所)	○	清水委員(東芝)	×	高橋委員(ビスキャス)	×
中坊委員(日新電機)	×	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	○	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×
穂積委員(愛知工大)	○	本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	○
渡辺委員(日立電線)	○	加藤委員(新潟大)	○	池田委員(新日本石油精製)	○
田中(祀)委員(早稲田大)	○	本間委員(電中研)	×	田中(康)幹事(東京都市大)	○
芦辺幹事(住友電工)	○	高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○

4. 提出資料

番号なし	第 196 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-197-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-197-2	第 84 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 代理出席報告
DEI-197-3-1	第 9 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録
DEI-197-3-2	第 10 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録
DEI-197-3-3	第 11 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録
DEI-197-3-4	第 12 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録
DEI-197-4	第 7 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント 調査専門委員会 議事録
DEI-197-5	調査専門委員会フォローシート (2010 年度計画)

DEI-197-6　平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定 (1 次案)
DEI-197-7　平成 23 年 6 月号「電気電子絶縁システムシンポジウム」特集号候補者リスト
DEI-197-8　電気学会論文誌 基礎・材料・共通部門誌 特集号投稿についてのお願い
DEI-197-9　第 41 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案書(第 2 次案)
DEI-197-10　2011 International Symposium on Electrical Insulating Materials 開催提案書(案)
DEI-197-11　電気学会「でんきの礎」候補者推薦調査票

５. 議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 196 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-197-1 に基づき、委員の所属等についての確認を行った。下記を修正する。他にも修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

岡下委員　旧：229-1133 相模原市南橋本 4-1-1　FAX 042-773-7148
　　新：250-0253 相模原市中央区南橋本 4-1-1　FAX 042-773-7291
小林委員　旧：日立研究所 モーターイノベーションセンター 電気先端工学ユニット
　　新：日立研究所 モーターシステム部 MS4U
渡辺委員　旧：技術研究所 基盤技術研究センター 高分子材料研究部
　　新：技術研究所 高分子材料研究部
渡辺委員　旧：新日本石油精製株式会社
　　新：7 月 1 日以降、JX 日鉱日石株式会社に変更する。これに伴う変更を高橋幹事補佐にメールで連絡する

5-3. 第 84 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会（今井幹事補佐）

資料 DEI-197-2 に基づき、代理出席した今井幹事補佐から、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 技術委員会委員の交代確認(穂積先生→長尾先生)
- A部門役員会関係（平成 22 年 3 月 5 日開催）
- 「電気学会優秀論文発表賞(A賞)」の割当数、及び「電気学会優秀論文発表賞(部門賞)」の新設について
- 公開シンポジウム「電気の不思議を体感しよう」の開催報告
- 研究会・技術委員会活動の予定と実績

長尾委員長から、下記の要請があった。

IEEE DEIS 日本支部では、IEEE DEIS が関係している(協賛、或いは共催)している誘電絶縁材料技術委員会研究会及び放電技術委員会研究会論文のうち、優秀論文 2 件を表彰している。対象は、35 歳以下の大学・企業研究者が発表した論文である。誘電・絶縁材料技術委員会で候補論文を推薦したい(選考・決定は、IEEE DEIS 日本支部が行なう)。

電気学会優秀論文発表賞(A 賞)、電気学会優秀論文発表賞(部門賞)との関係(賞の上下関係)については、再度、幹事団で検討する

岡下委員から、下記の報告・要請があった。

基礎・材料・共通部門(A 部門)大会の発表申し込み件数が少ない(現時点で、84 件の申し込み。その内、若手ポスター発表は 19 件と特に少ない)。申し込み締め切りを 1 週間延長するため、各機関において、申し込みを喚起してほしい。

5-4. 第 9～12 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録の報告（加藤委員）

DEI-197-3-1～197-3-4 に基づき、第 9～12 回 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用 調査専門委員会 議事録が報告された。第 13 回は、全国大会時に開催した(議事録は作成中)。

5-5. 第 7 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録の報告（池田委員）

DEI-197-4 に基づき、第 7 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録が報告された。技術報告の内容を決定し、執筆者の分担を行なったとの報告があった。

5-6. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-197-5 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。フォローシートの下記項目について更新を行なう。

- 有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する調査専門委員会
  更新前：活動中 → 更新後：解散
- 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術
  更新前：活動中 → 更新後：解散

平成 22 年度の優秀技術活動賞(技術報告賞)を、ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門委員会(代表：田中(祀)先生)の「革新的なポリマーナノコンポジットの性能

評価と電気絶縁への応用(第 1148 号)」が受賞した(平成 21 年度は、電力機器診断の経済性評価調査専門委員会(代表：穂積先生)の「電力機器診断の経済性評価(第 1108 号)」が受賞)。

毎年度、当委員会の調査専門委員会が 1 件以上受賞できるように、当委員会内で検討して、戦略的に申請していきたい。また、技術報告賞の販売部数以外の審査基準が明確でないため、調査する必要がある。

次回技術委員会(8 月)で選考ルールと候補を提案し、次々回委員会(11 月)において申請する調査専門員会を決定する。

5-7. 平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(1 次案)の確認（田中幹事）

資料 DEI-197-6 に基づき、平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(1 事案)の確認を行った。下記テーマの開催月日・開催地等を更新する。

- 有機薄膜・複合膜とデバイス応用，一般(電子情報通信学会共催)
  電子情報通信学会共催→電子情報通信学会連催に修正する
- 空間電荷(IEEE DEIS Japan Chapter 協賛)
  開催月日を 12 月中旬、開催場所を東京地区とする。
- 電線・ケーブル絶縁材料の劣化現象、先進診断技術、次世代材料(電線・ケーブル技術委員会共催)
  開催月日を 10 月下旬から 11 月上旬、開催場所を東京地区とする。
- 屋外絶縁(屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質調査専門委員会)
  開催月日・開催場所を本間委員長に、高橋幹事補佐から確認する。
- ナノコン(先端複合ポリマーコンポジット誘電体の応用調査専門委員会)
  開催月日・開催場所等を第 1 回委員会で検討予定。今井幹事補佐から報告する。
- 劣化診断、アセットマネジメント、機器・ケーブル絶縁一般(電線・ケーブル技術委員会と共催)
  開催場所を東京地区とする
- 全国大会シンポジウム
  「電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術調査専門委員会」で開催が可能か江原委員長に確認する。
  「絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門員会」での開催は、2011 年 2 月に研究会を計画しているため、全国大会シンポジウムの開催は難しい。

5-8. 電気学会論文誌 基礎・材料・共通部門誌 特集号について（田中幹事）

資料 DEI-197-7 及び 197-8 に基づき、電気学会論文誌 基礎・材料・共通部門誌 特集号についての検討を行い、下記の事項を取り決めた。

- 穂積委員の電気電子絶縁材料システムシンポジウムでの発表は、解説として掲載する。

- 池田委員の電気電子絶縁材料システムシンポジウムでの発表は、解説として掲載する。
- 特集号候補者への依頼メールは、筆頭著者とその研究グループの代表に送付する。
- 当技術委員会委員が論文誌の査読者登録を行なう(既に査読者登録している委員は必要なし)。田中幹事から、各委員に登録依頼と手続き方法のメールを送付する。
- 特集号において巻頭緒言(Preface 等)が掲載可能な場合は、穂積委員が執筆する。

5-9. 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-197-9 に基づき、第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案についての検討を行い、下記の事項を取り決めた。

- 家田賞・矢作賞の候補案を、6 月末を目処に芦辺幹事が作成する。
- 開催概要の案内を Web にアップする。
- 電気電子絶縁材料システムシンポジウムでの論文を、研究会論文としてカウントできるようにする。取り掛かりとして、他の技術委員会での例を確認する。
- 全国大会などで良いテーマを見つけ、シンポジウムで発表してもらうように積極的に呼びかける。
- 電気電子絶縁材料システムシンポジウムの座長は、各委員が行なう。各委員の専門分野の調査を行なう(田中幹事から調査メールを送付する)。

5-10. 2011 International Symposium on Electrical Insulating Materials 開催提案について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-197-10 に基づき、2011 International Symposium on Electrical Insulating Materials 開催提案について検討を行い、下記の事項を取り決めた。

- CIGRE SCs D1 and A2 の協賛が問題ないか、長尾委員長が確認する。
- 同志社大の協賛が問題ないか、穂積委員が確認する。
- 会員の参加費の上限は 35,000 円とする。
- 奈良高専の木村先生に Honorary chair への就任を、長尾委員長から依頼する。
- 次のスケジュールで行う。

2010 年 8 月	講演募集開始(Call for Paper)　2010 年 8 月末開催の CIGRE で配布する。その後、各学会でも配布する。
2010 年 12 月 29 日	Title submission(タイトルとテキストのアブストラクトによる申し込みを開始する)
2011 年 1 月 31 日	申し込み締め切り
2011 年 3 月 15 日	Acceptance notification
2011 年 5 月 30 日	Paper and extended summary submission (Extended summary が掲載されることを事前に通知する)
2011 年 9 月 7～11 日	ISEIM 2011 開催

5-11. **電気学会 「でんきの礎」候補推薦について（穂積委員）**

古河逸策と水晶振動子を、長尾委員長を推薦者として、「でんきの礎」に推薦することが報告された。

６. その他

- **平成** 23 **年 電気学会全国大会は** 3 **月** 16 **日～**18 **日の日程で、大阪大で開催。**
- **平成** 24 **年電気学会全国大会は** 3 **月** 21 **日～**23 **日の日程で、広島工業大で開催。**
- **第** 198 **回 誘電・絶縁材料技術委員会は、**9 **月** 22 **日** 13:30～16:00 **に、東京で開催する(会議室を今井幹事補佐が確保する)。**
- **第** 199 **回 誘電・絶縁材料技術委員会は、**12 **月** 16 **日** 10:00～12:00 **に、東京で開催する(会議室を田中幹事が確保する)。**

以上